

# 耐震強化岸壁の整備により 災害時の緊急物資輸送を支える (愛知県名古屋市)

事業者：国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

II-1 電力等エネルギー供給の確保

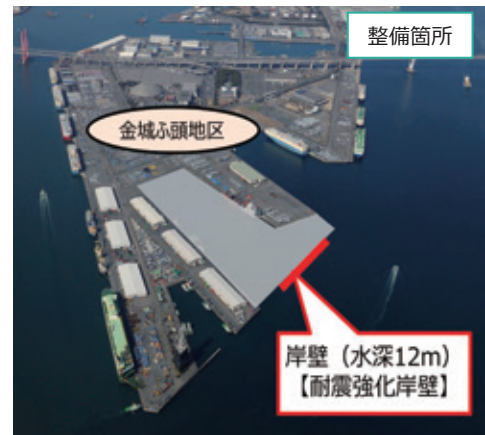
II-2 食料供給、ライフライン、  
サプライチェーン等の確保

II-3 陸海空の交通ネットワークの確保

II-4 生活等に必要な情報通信機能の確保



整備状況



整備箇所

岸壁(水深12m)  
【耐震強化岸壁】



**対策名：** No.153 全国の主要な緊急物資輸送ターミナルに関する緊急対策

**事業名：** 名古屋港ふ頭再編整備事業

- ポイント**
- 3か年緊急対策により金城ふ頭地区に新たな耐震強化岸壁を整備
  - 災害時において支援船の着岸が可能となり、緊急物資輸送を支える

## 地域の概要・課題

名古屋港の背後圏である中部地方は、南海トラフ等の巨大地震の発生が危惧されており、愛知県の被害想定では建物被害が約94,000棟、経済被害額が約16.86兆円との大規模被害が想定されています。

名古屋港では、緊急物資輸送を担うため、耐震強化岸壁の確保が急務となっています。

## 事業の概要

名古屋港金城ふ頭地区において新たな耐震強化岸壁の整備を実施しています。3か年緊急対策として、緊急物資輸送船の係留範囲を前倒し実施しました。

## 【見込まれる効果】

事業完了後は、災害時において、支援船（貨物船、タンカー、官公庁船）の着岸が可能となり、水・食料、衣料などの緊急物資輸送を支えることが可能となります。

《緊急物資の陸揚げ状況（イメージ）》

